

DXプロジェクトマネジメント 成功のポイント



DXプロジェクトのポイントを押さえ、
DXプロジェクトを成功に導くためのガイドブック

アジアクエスト株式会社

第 1 章

なぜプロジェクトマネジメントが重要なのか？

本書の目的	P3
プロジェクトマネジメントの重要性	P4

第 2 章

プロジェクト成功のためのポイント

データで見る！プロジェクト失敗の現状	P6
プロジェクトが失敗する3つの要因	P7
プロジェクトを成功に導くポイント	P8
成功のためのポイント 計画の明確化	P9
成功のためのポイント 進捗と課題の可視化	P10
成功のためのポイント 関係者間での認識の統一	P11
成功のためのポイント リスクへの対応	P12
成功のためのポイント 実践ステップ	P13

第 3 章

アジアクエストのプロジェクトマネジメント実績・サービス

プロジェクトマネジメント研修サービス	P15
プロジェクトマネジメント基盤構築および内製化支援サービス	...P16
お問い合わせ先	P17

第 1 章

なぜプロジェクトマネジメントが 重要なのか？



プロジェクトマネジメントのポイントを押さえ プロジェクトの成功確率向上を目指す



目標／計画／進捗の管理

限られた期間とリソースの中で目標を達成するには、計画、進捗、課題を適切に管理し、ステークホルダーと連携しながら着実に推進することが不可欠



ステークホルダーとの連携

定期的なコミュニケーションと合意形成を通じて、進捗管理の不備やコミュニケーションエラーなどのプロジェクトの遅延や品質低下の要因を防ぐ



ステークホルダーの認識

計画、進捗、課題対応を常に可視化しステークホルダー間の認識を一致させる続けることが成功への鍵

組織の目標達成を支援する

- プロジェクトを通じて組織の戦略的目標を実現する
- ビジネスニーズに基づいた成果物を提供する
- 成果を定量的に評価し、継続的な改善につなげる

価値の提供

- 成果物を通じてステークホルダーに利益をもたらす
- プロジェクトのライフサイクル全体で価値を最大化する
- 期待と成果のギャップを最小限に抑える

不確実性の管理

- リスクを事前に特定し、影響を最小限に抑える
- 変更管理を徹底し、プロジェクトの混乱を防ぐ
- 課題発生時の迅速な意思決定を可能にする

効率的なリソース活用

- 人的・物的リソースを最適に配分する
- 予算とスケジュールの範囲内で成果を達成する
- 優先度を明確にし、リソースを集中させる

利害関係者の調整

- ステークホルダーの期待を明確にし、一貫した認識を形成する
- 定期的な報告とフィードバックで信頼関係を構築する
- 意思決定プロセスを透明化し、調整コストを削減する

第2章

プロジェクト成功のためのポイント



30% のプロジェクトが設定された目標を達成できていない

主な原因：初期段階での要件定義の不備、スコープ変更、リスク管理の不足など

48% のプロジェクトが計画されたスケジュール通りに進行していない

主な原因：タスク見積りの甘さ、変更要求への対応遅れ、リソース不足

43% のプロジェクトが予算を超過している

主な原因：スケジュール遅延による追加コスト、リソース増強、再作業

計画不足

初期設定が甘く
頻発に修正が発生

コミュニケーション不足

コミュニケーション不足
による認識のズレ

リスク管理不足

リスクの事前特定が不十分で
対応が後手に回る

失敗要因	具体的な影響	対策のポイント
計画不足	要件が曖昧なまま作業を開始	初期段階で関係者との詳細確認を実施
コミュニケーション不足	タスク未完了で工程が後ろ倒し	WBS作成とマイルストーン管理を徹底
リスク管理不足	潜在的なリスクが未特定で影響拡大	事前のリスク分析と回避策の策定

- 
- ・ **計画の明確化** : 計画不足は遅延やコスト増の原因。初期段階で明確な計画を策定。
 - ・ **進捗と課題の可視化** : 課題の見落としはスケジュールの調整を招く。WBSで進捗を管理し早期対応。
 - ・ **関係者間での認識の統一** : 関係者間のズレは成果物の品質低下に直結。定期的な情報共有が重要。
 - ・ **リスクへの対応** : リスクの未対応は重大な影響を招く。事前特定と対策で被害を最小限に。

プロジェクト開始時の曖昧な計画は、進行中の手戻りやコスト増加を引き起こします。
確実に成功へ導くには、作業範囲とスケジュールを初期段階で明確にすることが重要です。

3つのポイント

ステークホルダー特定

—
ステークホルダーと協議し、
成果物に対する具体的な期待値を文書化

期待値の不一致を防ぎ、
手戻りリスクを軽減

WBS作成

—
タスクを細分化し、
各作業のスケジュールと担当を明確化

作業漏れを防ぎ、
スケジュール管理を強化

マイルストーン設定

—
成果物の中間チェックポイントを
設定し、進捗を確認

進捗の遅れを早期発見し、
対策を迅速化

プロジェクトの遅延や品質低下を防ぐには、進捗と課題をリアルタイムで把握し、素早く対応することが不可欠です。問題を見逃さず、的確な判断ができる環境を整えることで、プロジェクトの安定運用を実現します。

3つのポイント

タスク管理ツール活用

—
ガントチャートやカンバンで
作業状況を可視化

▼
進捗の遅れやリソースの
偏りを早期発見

進捗報告

—
毎週の定例会議で進捗状況と課題を共有

▼
認識のズレを防ぎ、
適切な軌道修正を可能に

リスク・課題管理

—
課題発生時は記録し、対応状況を追跡

▼
ボトルネックを把握し、
問題解決を加速

プロジェクト成功の鍵は、ステークホルダー間で認識のズレをなくし、一貫した理解を持ち続けることです。
コミュニケーションの齟齬を防ぎ、期待と成果のズレを最小限に抑えることで、スムーズな進行を実現します。

3つのポイント

キックオフミーティング

プロジェクトの目的、役割、
スケジュールを関係者で共有

初期の方向性を明確にし、
認識のズレを未然に防ぐ

進捗・成果物レビュー

成果物の中間確認を行い、
期待との乖離を防止

ステークホルダー間の調整を
円滑にし、手戻りを削減

議事録共有

会議後は決定事項とアクションを
文書化して全員に共有。

認識のズレを防ぎ、
責任範囲を明確化

プロジェクトにおけるリスクは、発生してからでは手遅れになることも多いため、事前の洗い出しと計画的な対応が不可欠です。リスクの発生を未然に防ぎ、影響を最小限に抑えることで、安定したプロジェクト進行を実現します。

3つのポイント

リスク洗い出し

プロジェクト初期にリスクを特定し、
影響度と発生確率を評価

想定外のトラブルを防ぎ、
適切な準備を整える

リスク対応計画策定

回避策、軽減策、受容策を策定

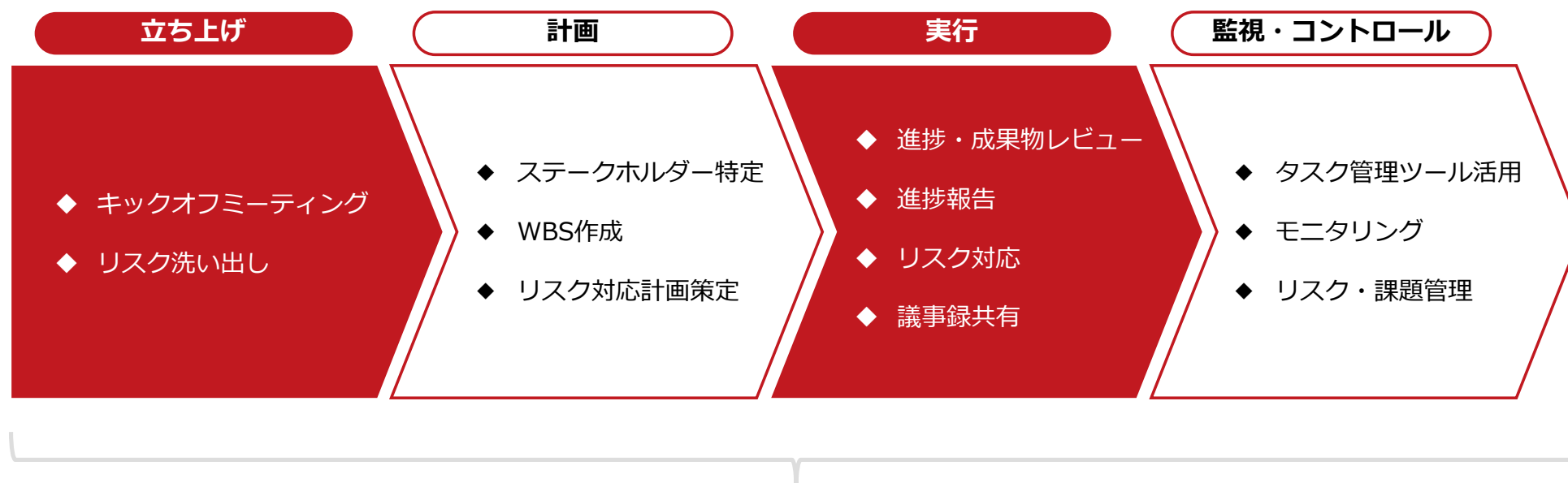
適切な対応を事前に決め、
緊急時の混乱を防ぐ

モニタリング

進捗確認時にリスク状況をチェック

リスクの兆候を素早く
察知し、迅速に対処

プロジェクト成功のために、各フェーズで押さえるべきアクション



手戻り防止・進行安定・品質確保を実現

第3章

アジアクエストの プロジェクトマネジメント実績・サービス



プロジェクトマネジメント研修実績 ～SIer向け研修～

社外SIer向けのプロジェクトマネジメント研修。

30名ほどのプロジェクトマネージャー向けに、弊社独自の研修カリキュラムの作成および実施。

各自が対応している実際のプロジェクトをベースとした課題解決のための演習や、

WBS、ステークホルダー登録簿、リスク管理表の作成演習など、実践に生きる内容を中心に提供。



弊社研修の特徴

- PMBOKをベースとしつつも、
実際のプロジェクト現場で使える内容を重要視
- 座学だけではなく
実際に現場で使える成果物を作成する演習
- 基礎編～実践編まで、レベルに
合わせたカリキュラムを柔軟にカスタマイズ可能



お客様の声

本研修の事例は[こちら](#)

研修実施後、プロジェクトマネジメントの用語が共通言語となり、**社内会議や案件カンファレンスがスムーズに進行するよう改善**されました。

また、これまで体系的に学ぶ機会が少なかったプロジェクトマネジメントの基礎知識を共通化できたことで、**各自が適切な判断を行える**ようになり、マネジメント側の介入による負荷削減もできました。

今後は、応用編など更なるステップアップ研修に期待しています。



プロジェクトマネジメント基盤構築および内製化支援サービス

システム開発プロジェクトにおける運用フローやドキュメントの整備など、マネジメントのよくある課題に対し運用基盤の構築支援を行います。
また、お客様がインハウスで運用していくためのトレーニングやその後のサポート支援（内製化支援）を行います。



各フェーズにおけるポイントを押さえた運用基盤の構築

内製化支援の
事例は [こちら](#)



プロジェクトマネジメントに関するお問い合わせ



プロジェクトマネジメントに課題がございましたら、以下のお問い合わせ先からご相談ください。
課題に合わせたご支援内容（研修内容やプロジェクト支援）をご提案いたします。

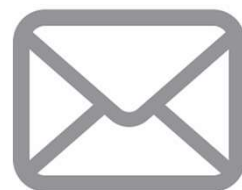
お問い合わせフォーム



お問い合わせフォームはこちら

上記フォームよりお問い合わせください。
弊社担当よりご連絡いたします。

メールでのお問い合わせ



digi-engr-ext@asiaquest.jp

会社名・氏名をご記入の上、
お問い合わせください。

電話でのお問い合わせ



03-6261-2701

営業時間
平日10:00～19:00
(土日祝休み)



お気軽にお問い合わせください

お問い合わせはコチラ



社名	アジアクエスト株式会社
本社所在地	〒112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー27F
代表取締役社長	桃井 純
資本金	412,358千円（2024年12月31日現在）
事業内容	デジタルトランスフォーメーション事業 ・企業のDXを実現する為のコンサルティング ・システム開発 ・プロダクト開発 等 様々なデジタル技術を活用したデジタルインテグレーションサービスの提供
企業HP	https://www.asia-quest.jp/